

乳がん検診のススメ。

～治療の決め手は早期発見～

欧米の女性に多い乳がん。でも、今では残念ながら日本の女性にも急増しています。乳がんと診断される女性は年間で3万5千人ともいわれており、これからも増加すると予想されます。「がん」といっても、乳がんの場合、早期に発見し、きちんと治療を受ければ、十分に治る可能性の高い病気です。これまで行われてきた視診・触診による乳がん検診だけではなく、早期乳がんの発見に有効とされているマンモグラフィー検診を受けましょう。



マンモグラフィーとは？

乳房の中身を写し出すX線写真です。丸い乳房をできるだけ平らに押さえて撮影します。無症状、触知不可能ながんの発見も可能です。良性か、悪性かの特徴も写し出すことができます。

乳腺の撮影には専用の装置が必要。

これによって立体的な乳房が観察しやすくなります。



丸い乳房を…



平らに!!



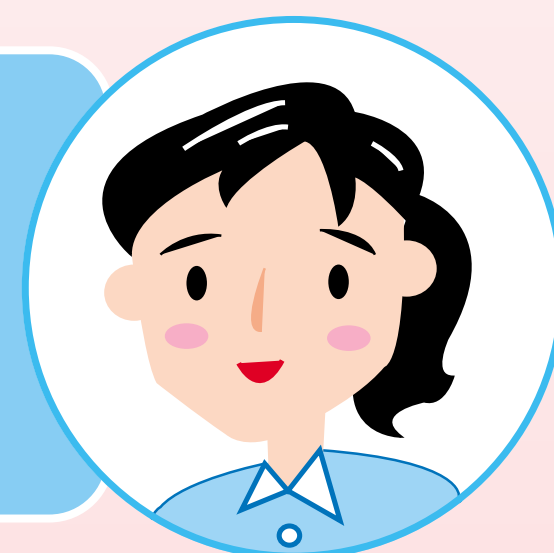
※実際の圧迫時には
検査着は外して頂きます。

※痛いと感じる人もそうで
ない人も。



＜マンモグラフィー＞
左右の乳腺の違いを比較できます。

被曝による影響は無いとされて
いますから、1年か2年に一度の
マンモグラフィー検診を受ける
ことをお勧めします。



自己検診のススメ

乳がんの一番分かりやすい症状は、小さい、硬い、痛みのない「しこり」です。自分の乳房の形やかたさをよく知っておきましょう。家で自分で簡単にできる触診法がありますので、月に一回の実行をお勧めします。何度も繰り返すうちにちょっとした変化でも発見できるようになります。

「しこり」イコール乳がんであるとは限りません。しこり、えくぼ、乳房の変形に気がいたら
独りで悩まず、必ずすぐ専門医に相談して下さい。

あなたとあなたの愛する人を守るために・・・早期発見で笑顔の暮らし・・・